

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第7回 常任理事会議事録

日 時：2015年 7月 8日 (水) 20:45～22:00

場 所：コンセーレ 大ホールB

出席者：

- ( 理 事 長 ) : 須山 (敬称省略 以下同)  
( 直 前 理 事 長 ) :  
( 副 理 事 長 ) : 澤畑、福田(之)、廣田、太城、中島  
( 専 務 理 事 ) : 金  
( 監 事 ) : 篠崎、安野  
( 担 当 常 任 理 事 ) : 羽石、飯野、鈴木  
(日本 JC 委員会特別委員長) :  
( 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ) : 小瀧  
( 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ) : 豊崎  
( 事 務 局 長 ) : 飯沼  
( 代 理 出 席 ) : 亀井

1. 開会宣言 <金> (役職名省略 以下同)
2. JCI クリード唱和 <割愛>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <割愛>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <割愛>
5. 関東地区宣言唱和 <割愛>
6. 出席者の確認 <割愛>

7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>

8. 前回議事録の確認 <金>

9. 議題並びに資料の確認 <飯沼>

10. 2015年度理事長挨拶 <須山>

皆さまこんばんは、先ほどは第3回臨時理事会お疲れ様でした。総会案件と青少年育成事業のダンス事業と2つの審議をいただくことができました。ありがとうございます。そしてこのまま常任理事会になります。常任の挨拶という部分で色々考えてはいたのですが、ちょっと全然関係のない話になりますがお話させていただきます。上手くいく時と上手くいかない時とあると思いますが、その時の過ごし方というのは皆さんどうしているのかを聞いてみたいのですが、腕いて運を切り開くタイプとじっと耐えるタイプと2つあると思いますがどうですか。正解はなく人それぞれだとは思いますが、自分で突き進んで整えていきながら運が来るのを待つやり方と、周りの風が吹くのを待つやり方とあります。何がしたいかというところ最近あんまり上手くいかないなと思っていて、耐え忍んでいることが多いです。動いて結果が出る場合もあれば、ずっと待って結果が出る場合もあります。やはり私は周りの力を借りながら今まで過ごしていただくことができましたし、皆さまにご協力いただきながらやっているわけです。仕事も家庭も順風満帆で何もかも上手くいく人も少ないと思いますが、人それぞれ運も味方に付けながら進んでいくのが重要かと思います。もう一点お話をさせていただきますと、委員会運営というところで7月まで来たわけで3分の2が過ぎましたが、どのような立ち位置で委員会と接してきたかというところに、皆さんそれぞれ上手くいった部分と反省点とあると思います。常任をやる前からこういう常任でありたいなと構えたり考えたりしながらここまで歩んできたと思います。今、総会資料をみながら振り返ってみてどのように感じていますか。上手くいった部分というのはさらに伸ばして行ってあげて、上手くいかなかった部分で指導とかでの自分の関わり方で上手くできなかったというのはあるのではないかと思います。これは副理事長の部分でもあると思います。正副と常任との関係、正副とラインの関係とあると思います。いろんな関係がありますが、今一度みつめ直す機会は何回もあると思いますので、臨時理事会・夏の総会を迎える前の区切りですので何か感じている部分がありましたら、すぐに行動に移していただけたらと思います。

今日もさまざまな議案がありますので最初から最後まで宜しくお願いします。

1 1. 直前理事長挨拶 <割愛>

1 2. 役員報告 <割愛>

1 3. 協議事項

協-1 第1回臨時総会 開催報告並びに決算（案）について  
協議資料に基づき、飯沼事務局長より上程文の読み上げ

協-2 8月 宮まつり例会 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、鈴木常任より上程文の読み上げ

<飯沼> 本部無線という大役を担わせていただくのですが、反省会の会場図に本部無線のところが載っていないのでお願いします。

<安野> 反省報告会コンセーレ大会場となっていますが大会議室ですか。そもそもこれをやる予算は組んでいますか。予算書をみると何も書いていないので会場費等は考えているのかをお願いします。

<鈴木> 名称を変更いたします。

<羽石> 反省報告会の意見ですが、これまでは各担当がそれぞれの委員会に行って報告のヒアリングをしていたと思いますが、今回は全体で行うことによって共有できるのはよいと思います。ですがここに書けないことで問題があったときのことも引き継がないといけないと思いますので、今までのやり方というものも引き続き検討していただいて、全体反省報告会で拾えない意見ということも少なからずあると思いますので、各委員会からのヒアリングも合わせて検討をお願いします。

<鈴木> 持ち帰ります。

<飯野> 反省会の日程ですが9月14日ですと本祭から1ヶ月以上経過した後なのでもう少し記憶が鮮明な早い時期がよいと思うのですが、この日程にした理由をお聞きしたいのと、特別会員案内文・ビジター案内文の日付が吉日なので前にこれは具体的な日付を入れるという話だったと思います。もう一点は、メンバー案内文はここに載せなくていいのですかということです。

<鈴木> 反省会の日程に関しましては木村委員長が金専務と話し合っただけスケジュールが空いている部分でこの日に設定しました。案内文に関しましては対応いたします。メンバー案内文は審議対象資料に付けさせていただきます。

<須山> 参考資料の反省会報告の手引きのところなのですが、1番2番の担当別や本祭の改善の報告を行ってくださいのはよいのですが、3番の2日間の宮まつりや事前準備をとおして自己成長できたと思うことを報告してくださいというのは強引かな、難しいかなと思いますので対外目的とリンクをさせて対外目的が達成できたかという形で書いていただけたらと思います。自己成長だけですと日本語として繋がらない部分があると思いますので理事会までに精査いただければと思います。この議案には関係ないのですが、出向者会議が不安だなと思います。結構聞こえてくる声なのですが、委員会も反省はしているとは思いますが残り1回しかないところでどうやっていくのかだと思います。

なので、第3回出向者会議をよいものにしていただけたらなと思います。

協一 3 第3回わんぱく相撲全国大会 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、羽石常任より上程文の読み上げ

協一 4 9月 50周年準備例会 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、飯野常任より上程文の読み上げ

<金> 事業内容の3のグループ分けの委員会名が一文字抜けているところがありますので、ご了承いただいて進めたいと思います。

<鈴木> 委員会のグループの分け方というのはどう決めたのですか。

<飯野> このグループ分けに関しましては、たとえば研修につきましては担当の委員会を入れさせていただいて、拡大委員会は人数も多いので各部門それぞれに入れるような区分けにしています。それ以外の委員会につきましては、均等に意図なく分けました。なので、この場でご意見があれば反映できるよう持ち帰らせていただきます。

<金> ビジターの方、特別会員の方が来た場合はどのようにこの例会に参加していただくのですか。

<飯野> 第1部につきましては席の方をご用意させていただいて、第2部につきましてはまず、ビジターの方は会員拡大特別会議様の席に入らせていただいて拡大のフォローの元、可能であればアイデアを出していただければと思います。特別会員の方がいらっしゃいました場合には、経験が豊富な先輩方でございますので、特に発言というわけではないのですが、ビジターさんと同じようにテーブルに入らせていただいて、こんなことがあったとかいろんな宇都宮 JCを知っていただく機会にもなりますのでビジターさんと同じテーブルに入らせていただく予定です。

<澤畑> グループ分けの件でありましたが、担当の委員会が入っているというのは将来のJCを語るのであれば逆に担当委員会がない方がいいと思いますよ。だって、考えて出なかった委員会ってことになると思うので。そして研修委員会からいっぱい出ちゃったら最初からやれよってなってしまうので。ではなくて他の委員会が俺だったらこうやったよな、とかで将来語るなら担当委員会が入ってない方がいいと思う意見です。ビジター推進方向はちょっと間違っているの直しておいてください。後、アイデアをくださいとここでは言わない方がいいと思います。出し切ってその場に来てください。

<飯野> 担当委員会をここに入れたのは、おそらく予算の制約化でできなかった事業とかそういったアイデアがあるのであれば、是非それも将来に生かすために入れられればなというところもありました。澤畑副理事長のとおりでございともだと思しますので委員会に持ち帰って検討したいと思います。ビジター推進方向については削除をします。

<小瀧> ネットのダウンロードしたやつと、今日の差し込みのやつが違うので表の見方がわかりません。委員会名の横の委員長、常任はこの人たちも入るということですか。

<飯野> 副理事長、監事、常任の皆様につきましては特にテーブルに入って意見をいただくとということではございません。各テーブルを回っていただいてどういうアイデアが出ているかとか、広い立場からみていただければと思っています。

<羽石> 第1部のところですが、パワーポイントの資料をみさせていただいたのがこれをプロジェクターに出した際に文字がみえないと思います。表を付けるのはいいと思うのですが、プレゼンテーションする際の作り方を意識していただければと思います。

<飯野> おっしゃるとおりでこういった細かいものは手元の紙資料に記載してパワーポイントでは要点だけを大きな文字で作っていくようにしっかりと作りこませていただきます。

<福田（之）> ベルヴィのメンバーが3000円というのは3500円分の料理提供に対して500円分が事業費で払われるっていうのはわかるのですが、特別会員から5000円取るとビジターさんが3000円なのでこの時の予算の組み方というのは法令会計さんとよくやっていただかないと収支がおかしくなりそうなのでご検討お願いします。

<須山> いくつかあります。第1部の（1）（2）がありますが、個人的に感じるところで一番重要なのが（1）の「何で宇都宮JCができたか」という部分と、設立推奨の解説の部分があるのですが、どういう風に今調べているのかを教えてくださいいただければと思います。

<飯野> 過去の資料を引っ張り出しているのと共に、歴代の理事長や当時の先輩にお話を直接お聞きしています。

<須山> 何故この質問をしたかといいますと、聞く人によって違うのではないかなと

思いました。情報の出所で私たち例会に出る人間がいわゆる知識として、言葉選ばずにいうのであれば誤った知識とかを吸収してしまうかもしれないとも思います。誰が正しいかというのも難しいのですが、やはり誰が言葉として発信したのかがすごく重要かなと思います。もっと危険ない方をしてしまうと設立趣意を自分たちで勝手に解釈をして発表をしてしまうには、今の私たちの考えで解説書みたいのを作ってしまうのは危険で、どの辺りまで紐解いていけているのか気になりましたので質問しました。

2つ目に第2部のテーマについて、いろいろ書いてあるのですが重複した部分が多いので何がしたいのかというのがわかりづらいと思います。事前に各委員会を回りますというのが新しく設けていると思いますが、ここで何を話すのか不安に感じました。例会内容説明なのか、それとも第2部の今後の宇都宮JCの礎になる事業を考えてきてというのが伝えたいのだと思いますが、それをざくっと説明していても混乱すると思います。ここの情報提供の中身が少ないと思いますので、どんな内容を伝えて何を引き出したいのかがみえるようにしていただければと思います。3点目が部門についてで、研修部門、まちづくり部門、青少年育成部門がありますが是非とも拡大を入れて欲しいなと思います。何故メンバーを増やさなくてはならないのかというのも考えていただけるように1部門作っていただければという意見です。最後にタイトルを何か考えた方がいいのではと思います。9月50周年準備例会という事業名ですが、例会に参加したいなと思うようなキャッチコピーとかあった方が、できたら一目でわかるようなタイトルとかを委員会で考えていただければなと思います。

協－5 10月 食育事業 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、鈴木常任より上程文の読み上げ

<中島> 背景の1行目なのですが、多様化・近代化する食生活により食に対する意識が気薄になり健全な食生活が失われつつあります。とありますが、まったくそう思えないのですが事例を説明していただいてもいいですか。

<鈴木> 事業背景に関しまして、今回の食育フェアに則って進めていく上で、宇都宮

の第2次食育推進委員会の背景の中でこういう文章があり、今回の食育の背景はこの形とリンクをさせていただき書かせていただきました。

<中島> 多様化、近代化するというと時代スパンが長くなるので、実は食に対しては今思うのはおそらく、風評被害とかそういうのが食に関してキーワードだと思います。食に対してのカロリー計算は、昔はなかったわけで今は情報が溢れている時代です。ということはプラスの背景にあるのだから、たとえば危惧した方がいいよというのであれば、風評被害であるとかそういうものによって本当の食のデータとか情報が取れるのは現代的に難しくなっているのではないかというふうに入るのが背景としていくのがいいと思います。

<鈴木> 確かにそう思います。ちなみになのですが私が行政出向させていただいたときもこの内容になって、どの部分の意識が希薄になって健全な食生活が失われているかという部分では議論になりました。その中で、現代は昔に比べて食材の量、料理の数というのは選べないほど膨れ上がっているという中で、数ある食材、食の中で本当に一人ひとりが健全な食生活をしっかり認識した上で選択して食生活を送っているのかという形で希薄になっているという部分に辿り着いたのが、この背景になりますので理事会までにわかり易く書き直してきます。

<澤畑> 単純に市の方でバックアップみたいな話がありますが、元々3万という予算の中で考えていた1ブースが3つに増えると材料費とかどう規模を大きくするのか教えてください。

<鈴木> 現段階では3万円の予算で足りる予定です。ただ、予算の中で160名なのですが、ジャムの業者に協賛いただく話は進めさせていただいております。

<小瀧> 背景・目的も健全な食生活とか正確な知識とかは日本型の食生活から離れてしまって、多様化して自分思いの食生活をしていることによって今に繋がるとか、そういう方向性で書くことが正しい食の判断ではないのかなと思います。

<羽石> 細かいところからになりますが、事業内容のところでも手用消毒、希望者には手袋配布とあるのですが、今回160名の予定ですが予算上では100名分しかみて

いないこと、備品をみると記載されていない、仮に手袋を全員希望者に配布できないというのがありますのでその当たりのチェックを今一度お願いします。また、目的のところ意見がある健全な食生活を実施するためにとありますが、健全な食生活はなにかを示すパネルの作成も必要だと思います。あくまで餃子を作ることという点でみれば、メインよりもサブに近いと思うので、あくまで何をすべきなのかをみつめ直して明確にさせていただければと思います。後、地産地消で餃子の皮とあったのですが、餃子で地産地消という具の方で皮は小麦粉でほぼ輸入かなと思いますので、この辺はどういう見解なのか委員会・主催者に確認の方をお願いします。

<鈴木> ブースの流れもあると思いますが、結局ここが対外目的とリンクしてしまっていて、多様化するというのはいろいろな食材があって、いくらでも食べる気になれば食べられるとかではなくて、その中でどれだけ食べればいいのかではなくちゃんと自分の中で体調を考えカロリー計算をしてという形でという手法になっています。ちなみに餃子の皮は地産地消というよりも、宇都宮の名物の餃子の皮と地産地消の果実を使用したジャムというふうに2つに分かれていますので、餃子の皮はうどん県みたいに思っただけであればと思います。消毒、手袋等に関しましては次回の理事会までにしっかりと精査して持ってきますのでお願いします。

<金> 上程の際に主催者側になってブースが3つになるといっていましたが、ということは配置図が変更や、出す数とか想定される参加人数も変更になる可能性があるということで理解してよろしいですか。

<鈴木> 予算が3万円ということなので、3万円のできる範囲内で考えています。その中で協賛が募ればこの事業参加者も増えていくという、少し流動的になってしまいますがそう考えています。

<小瀧> 健全な食生活というのは私的に和食になるのですが、健全な食生活が失いつつあるとあるのに、そうすると事業内容が健全な食生活とかけ離れているのではと思います。健全な食生活とは何を考えているのかをお願いします。

<鈴木> 健全な食生活というのは、あくまでも健全な食生活を送るために何が必要なのかということ、正確な知識や判断力があってからこそその健全な食生活、食に

についての知識がなければ健全な食生活を迎えることができない。だからこそ、食についての知識や判断力を持っていて、健全な食生活の再認識していただくというのが目的・背景です。

<小瀧>            ということは、カロリー計算に関する知識みたいのを栄養士とかに細かく教えてもらえるということですか。餃子に関するカロリーしか計算しないということですか。

<鈴木>            健全な食生活というので、何があるかとなるとものすごい数で大きいものになってしまうので、今回はお菓子系なので子どもたちがメインになると思いますので、その中で食べ物にはカロリーというものがあることというのを認識してもらって知識をもってもらう形です。

<金>                予算で発電機と消火器とあるのですが、会場で借りるのかほかで調達するか教えてください。

<鈴木>            発電機と消火器に関しましてはこちらで用意します。主催者の方で借りることはできるのですが、倍の値段になってしまいます。

<須山>            根本的な所で何故、食育は必要なのでしょうか。

<鈴木>            いろいろあると思いますが、先ほどいったとおり身近に食に関する選択肢が多い、その中でしっかりした知識を持って我々は食べているのかという部分、それと現代における成人病や現代病の予防に繋げるためにも食育が必要だと思います。

<須山>            食育という言葉調べていたのですが、食育基本法が出てきます。それを読むと鈴木常任がいていたことも含まれていますし、地産地消もありますし、何故食育が必要なのかということも記載されています。それをもう一度、委員会内に見直してもらって、どうして今やらなくてはならないのかという部分と、何故この食育フェアに出なくてはならないのかという部分を汲み取っていただいた方がいいと思います。どうして食育が必要なのかという所から上がっていけばいろんな背景・目的とかが一本筋がとおるのではないかなと

思います。もう一つは誰をターゲットとして行っているのか。食育となると子どもたちをターゲットになりますが、食育は万人に向けても大切だと思いますので意識しながら考えてください。最後に、主催者になったわけですよね。予算や人員とかこれからはどうしていくのかなと思います。言葉悪くいうとみんな食育をなめているわけです。来なかったりしたりして、3ブース構えて宮まつり委員会しか来ないとかでコケたりの可能性もありますよね。なので、今は宮まつり委員会中心に組み立てていますが、どう他の人を巻き込んでいくのが重要だと思います。主催者側になったことでこちらもしっかりと構えないといけないと思います。

協一6 10月 まちづくり例会 開催計画並びに予算(案)について  
協議資料に基づき、鈴木常任より上程文の読み上げ

<羽石> 質問なのですが、まちづくりの定義のところでは宇都宮市で活動している企業とかは含まないということですか。

<鈴木> 今回に関しましてはまちづくりをめざすボランティア団体をメインとしているので企業は含まれておりません。

<羽石> 意見なのですが、今度の7月例会はこの前の手法と違って新たなまちづくりという形でまちづくりをみていると思いますので、そのところを委員会で検討していただければと思います。

<飯野> 事業目的なのですが、未来を見据えたまちづくりを市民と考えることでということで、ハロウィンのイベントやりますというのが統一になるのかその繋がりがみえないような気がしますので説明が補足されればと思います。

<羽石> この議案で9月29日に審議いただいて、10月1日に出向者会議なのですが、対内・対外に対してこのスケジュールはどうお考えですか。

<鈴木> 正式に審議がとおってから出向者会議まで2日なのですが、ある程度参加団体がしっかり固まっていれば下話はしておけるとしますので、参加団体を決めるな

となると難しいのですが、連携を取りながらやるしかなくて、審議とおってから1ヶ月しか時間がない中でこれだけ大きな事業をやるうえでは連携を取りながら進んでいこうと思っています。

<羽石>            ということであれば、開催趣旨ですとか、対外配布の資料とかを専務決済で前もっての流れになると思いますので、その作り込みを制度を上げた状態で今度の理事会までに揃えていただければと思います。

<飯野>            実行委員会を新たに設立するということは宇都宮JCが声を上げる形なので、おそらく実行委員長とかメインは我々がやると思うのですが、次回どうなりますかとなった時にやりませんとなった時に、次年度以降に責任が発生してくるかと思うのですがそのことについての考えをお願いします。

<鈴木>            あくまでも参加する協力団体の代表の方と宇都宮JCの単年度制という仕組みを理解していただいて、この1回目の事業の構築をさせましょうという話はしてあります。次年度のことも考えて進めさせていただいております。

<澤畑>            次年度を考えているなら第1回とか付けない方がいいと思います。ダンスの時もあったのですが第1回と付けると逃げ場がなくなってくるので、この団体で決めてしまうのは怖いと思います。

<小瀧>            ハロウィンありきになっていますが、これ以外に手法はあったのですか。

<鈴木>            現段階では外枠でしかないです。調べた結果、宇都宮にハロウィンで大々的にやっているイベントは調べるかぎり存在はしておりません。であれば、例会が10月でもあるのでハロウィンイベントをやっても面白いのではないかという、あくまでも提案だけであり今回の事業に関しては実行委員会を作るというのが第1目標であり、変更はあると思います。他の手法に関しましてはいろいろでできました。たとえば、大谷石の採石場を使って何かできないかとかの案もあったのですが、終着で10月31日の宇都宮にハロウィンイベントが存在しない、この形でメディア等、市の協力体制も市民にわかり易いイベントではないのかということで出しています。

- <小瀧> ハロウィン提案はただでいい、実行委員会を立ち上げるだけで先決と聞いていたが、話を聞いてもやはりハロウィンありきの感じなのでよくまとまりきってないと思いますので、まだ出してくる段階ではないと思いますので、ご検討をお願いします。
- <羽石> 対内目的をみさせていただいたのですが、力強く JC 運動を推し進めていくことを目的とします。とありますが、実行委員会を作ることがリンクすることで合っていますか。
- <鈴木> この実行委員会を立ち上げて、この事業をやるのが未来を担う人のために力強く JC 運動を進めていくことにリンクしていると思います。
- <飯沼> 事業内容にある設立趣意の文面は、最終的にはどんどん外に出て行く文面になるのですか。議案の中だけの文面ですか。
- <鈴木> 参加団体に説明する部分になると思いますが、幅広く外に発信するということはありません。
- <飯沼> 質問した趣旨としては、人々が楽しみに待ち焦がれるイベントとあるので、継続性を思わせる文章が 3 箇所ほどあるので、文面が外に出ていくのであれば、そういう誤解を他団体に与えないような注意が必要かなと思って質問させていただきました。
- <金> おそらくですが、はじめての上程ということもあるので議案として不明確な部分とか、説明がきちとなされない部分ですとか非常にあるのかなと感じます。皆さん疑問に思うことがたくさんあると思いますし、また、事業が大掛かりな事業だと感じていると思うのですが、であればやはり議案をより精度を上げてこないとおかしくなると思います。今まで出てきた意見も踏まえて、委員会で事業の構築を進めていただいて理事会の前にはより読み取れるようにしていただきたいと思います。
- <須山> 面白い内容かなと思いますけれども、実行委員会形式を作って何かをするというのは宮まつりが代表的だと思いますが、誰に何をさせるのかっていうの

がみえてこないなと思います。たとえばまつりに照らし合わせると団体ごとに役割があるのですが、今この議案をみるかぎり JCのオンステージなので実行委員会形式が機能していないのかなと思います。企画から他団体に考えさせるとかでどう巻き込みかというところですか。どこの地域を対象にしているのか、誰を巻き込んでいくのかが中々わかりづらいなと思います。その辺をご検討していただければと思います。新しいことをやるので皆さんどういうふうに進んでいくのかが不安だと思います。10月の末に開催、9月審議でそこまで下話の表現でしたけれど、各団体との調整というのはしていかなければならない、このスケジュール感とかも伝える必要があると思います。企画会議をどことどれくらいやって、どの団体と組みますとかまつりに照らし合わせていくとわかり易いと思います。この議案1枚ですべてを測っていかなければならないということを見ると、もっと委員会を詰めてやらなければならないですし、週1、2の集まりでもどうかなのかと思うくらいです。かなりパワーが必要だと思いますので、やり方・方法ということとスケジュール感を委員会内で考えていただければと思います。

協一 7 その他  
特になし

#### 14. 報告依頼事項

報一 1 2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> ご一読ください。

報一 2 2015年度 対外出向者について

<金> ご一読ください。

### 報－3 会費納入状況について

<豊崎> 前、後期末入金者残り3名です。後期分未入金者13名となっております。  
各委員会で再度、催促をお願いいたします。

### 報－4 特別会員入金状況について

<豊崎> 特別会員が1名増えて76名となっております。

### 報－5 その他

特になし

#### 15. 監事講評

<安野>

時間のない中、ご設営ありがとうございます。本日は宮まつり例会含めて協議事項が6本ありましたが、その中で宮まつり例会について新たに反省報告会という今までにないことに挑戦する姿勢が素晴らしいなと思いました。是非、次回の理事会で審議をいただいて8月の宮まつり例会をみんなで協力して成功に導ければと思います。それと50周年準備例会なのですが、宇都宮JCが来年50周年を迎えるにあたっての、予備知識を得てもらって意識を向上させるということが読み取れたのですが、今まで宇都宮JCに関わってきた方々が築いてきたこと知ることによって50周年の重みを感じていただけるような例会を設営していただければと思います。私たちが何のために活動をしているのか再確認する意味でよい例会にしていいただければと期待しております。50周年を迎えるにあたって初心に戻るという意味を念頭において例会を構築していただければと思います。ハロウィンの新規事業ですが、みんながイメージできないから質問が増えてしまうのですね。議案から読み取れる情報が少ないのではないのかと思います。もう少し委員会で揉んでください。事業を開催するのが目的ではなくて、誰にどうなってほしかというところが目的になってくると思いますので、再構築をお願いします。初心にかえるということで、私も先日出向先で今は初心に帰ってもう一度見直すべきだと、そうでないと足元すくわれるということを毎回いわれて脅かされているのですが、なので宮まつりを迎えて3分の2を過ぎてしまったところですが、もう一度初心にかえて最初はどんなことを目的にこの委員会に配属になったのかとか、そういうことを委員長さんに伝えていただいて、さらにその委員長はメンバーを集めて1年間この委員会に所属してよかったなと最後いってもらえるような委員会構築をしていただければと思います。人が集まれば自然と事業が成功するというお話しもい

ただきましたので、それを信じて12月31日に向かって突き進んでいただければと思います。

17. 閉会宣言

<金>

公益社団法人 宇都宮青年会議所  
2015年度 第6回常任理事会議事録

議長：( 専務理事 ) 金 克彦

議事録作成：総務委員会